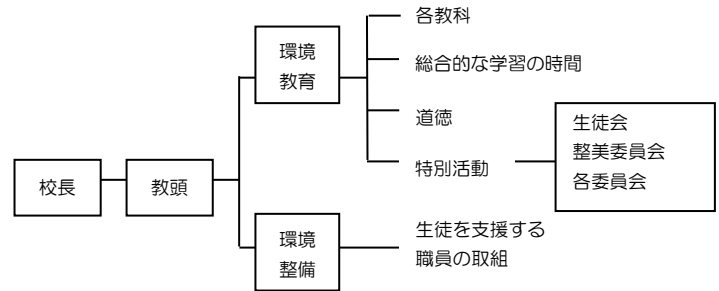


1 組織の概要

本校では、学校の規模から整美委員会を中心に、設定した学校版環境 ISO 行動項目宣言で宣言した項目の達成をめざし、生徒全員がそれぞれの委員会活動などを通して、環境に関する取組を行っている。



2 学校版環境 ISO 行動項目宣言の設定

社会生活や学校生活で環境に関心を持ち、快適な環境づくりに進んで取り組む態度や感性の育成を目指し、学校版環境 ISO 行動項目を設定した。昨年度の反省を踏まえ、今年度も継続して行っている。

～生徒用～

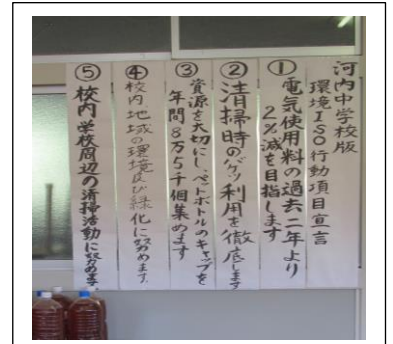
- ① 電気使用量の過去2年より2%減を目指します。
- ② 清掃時のバケツ利用を徹底します。
- ③ 資源を大切にし、ペットボトルのキャップを年間8万5千個集めます。
- ④ 校内、学校周辺の緑化に努めます。
- ⑤ 校内、周辺の清掃活動に努めます。



3 本年度の取組

(1) ISO 行動項目宣言

生徒集会で、整美委員が河内中学校版環境 ISO 行動項目を発表し、環境を意識した行動を呼びかけた。それぞれを短冊にし生徒教室前の多目的廊下に掲示し、常に意識できるように工夫している。また、学期ごとに行動項目に沿ったエコチェックカードを使って全校生徒が「環境を意識した生活ができたか」の振り返りを行っている。



(2) 資源の活用

裏紙を再利用するための紙の分別を、職員室での印刷はもちろん、教室でも行っている。教室での分別はもちろんトイレットペーパーの芯や包み紙のリサイクルにも生徒が自主的に取り組む様子が見られ、意識が定着してきていることを感じる。



(3) 節電に向けての取組

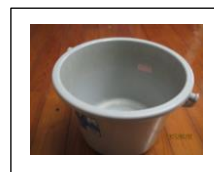
各教室の節電では生活委員会の常時活動として取り組んでいる。声かけ、教室を出る時のチェックをはじめ、特にできていないトイレの消灯については、生活委員会のポスター作製・掲示、休み時間のチェック、呼びかけを行っている。

さらに、今年度も緑のカーテンづくりに取り組んだ。昨年度より幅を延長（校長室前を二方向に延長、2階ベランダ教室前にも設置）し、南を向いた窓の外にネットを張り植物（ゴーヤ、モロッコ豆）を植えた。茂った葉で涼をとるとともに、今年度は小学生が授業の一環で植物の観察に来るなど学習にも一役貢献することができた。また、熊本市緑のカーテンコンテストにおいて優秀賞を受賞することができた。



(4)「清掃時のバケツ利用」節水への取組

節水への意識を高める取組みの一つとして、一昨年より清掃時のバケツの利用の徹底を呼びか清掃場所に必ずバケツを置きバケツの使用を呼びかけた。またバケツに目盛り線（視覚的に一目見てわかるように5Lのところにはビニールテープを貼っている）を提示し節水の意識を高めた。さらにトイレ掃除にも少ない水の量で掃除に取り組めるよう「排水口より遠くから水を使う」、「雑巾を使用して拭く」などの工夫を呼びかけ実践している。学校版環境ISOへの取組みの中でも、特に節水には、整美委員会を中心に全校生徒の意識を高めるために、次のことに継続して取組みを行っている。



- 熊本市の節水期間7・8月にあわせて「河内中学校節水月間」を設定し特に7、9月（8月は夏休みのため）に節水に力を入れて取り組む。

- 「河内中節水月間」には熊本の地下水や節水に関する情報を校内放送で伝える。

給食時間に整美委員会で熊本市の節水状況や、節水218運動、地下水ができる仕組み、家庭でできる節水などを伝えた。節水CDの曲も流した。また掃除はじめの放送時にバケツ利用と節水の放送を毎日行った。

- 一人一鉢を含む学校の花や樹木への水やりには、“雨水”の水を優先して使う。

(5) エコキャップ回収運動

本校のエコキャップ回収運動は今年で8年目である。毎年多くのキャップを回収することができている。本年度はエコキャップの回収目標を8万5千個として、保健委員会を中心に回収の呼びかけを行った。エコマッチ（クラスマッチ）とすることで、学校だけでなく、保護者の方々にもご協力いただいている。今年度は地域の商店やスーパーに協力をお願いしていること、卒業生の保護者が直接持ってきてもらうこともあり多くの数が集まっている。

年度	回収数
21年度	8,004個
22年度	12,476個
23年度	16,890個
24年度	58,016個
25年度	109,890個
26年度	69,427個
27年度	86,584個
合計	358,044個



(6) EM 発酵液つくりと利用

整美委員会では、米のとぎ汁に EM 菌と糖蜜を加えて EM 発酵液を作り、中学校の環境改善に利用している。この EM 発酵液は、主にトイレ掃除での合成洗剤の代わりとして利用している。EM 菌によって汚れを落とすだけでなく、消臭作用もある。さらに EM 菌を含んだ排水により自然の力で水が浄化されることで、環境への負荷を減らしたいという気持ちで取り組んでいる。地域でも積極的に EM 菌利用の普及が進められており、地域の団体より年に 1 回、EM 培養液をいただいている。プール掃除前に EM 菌を投入しておくことで、プールの中の藻などの汚れが落ちやすくなり、洗剤による水の汚れも起きないため環境への負荷が減られるということである。



(7) 落ち葉堆肥作りと校内の緑化活動

秋から落ち葉を利用した堆肥作りを行っている。掃除の時間や朝の委員会・部活動清掃ボランティア活動で集まった落ち葉を、堆肥場に集め、その後、整美委員会が EM 発酵液と米ぬかを加え堆肥になるよう積み上げる作業を行う。堆肥がまんべんなくできるよう数回の切り返しを行い、半年以上かけて仕上げていく。堆肥は学校の花壇や畑、栽培用の土に利用する。また夏に行われた「河内川清掃」の時に川沿いの道路に堆肥を入れ、花を植えている。また、昨年度、隣接する小中学校前の道路を「笑顔あふれる河内オレンジロード」と名付け花でつなぐところみを行った。今年度は小学校前の花を小学校で植えるなど小中連携にも効果があらわれている。さらに、学校周辺の緑化や「一人一鉢」にも取り組むなど、生徒全員で花を植える活動を行っている。苗を植えた後の毎日の水やりは、学級で取り組んでおり、当番を決めて活動し、長期休業中の学校花壇の水やりは、全校生徒で行うなど、生徒全員で緑化にかかわる環境をつくっている。緑化活動については、熊本市学校環境緑化コンクールにおいて、2年連続で西区賞を受賞することができた。



(8) 地域の方々と関わりながら

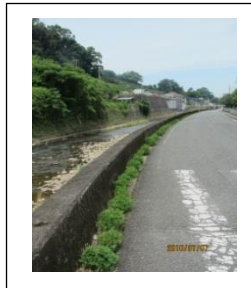
毎年7月、本校の生徒たちは地域の「せせらぎ会」、河内町青少年育成協議会の方々と一緒に、河内川の清掃活動を行っている。川の中の草取りやゴミ拾いを大人で、川沿いの道路のゴミ拾いや草取りを生徒が行う。その後、道路わきにたい肥を入れ、花の苗を道路わきに植え周辺を飾るなど河内川を美しくする活動として実施した。



また、夏休みを利用し、各地区の民生委員さん方に協力していただき、地域の一人暮らしのお年寄りへ花の苗を配る活動を行った。さらに、今年度は生徒会の発案で一人暮らしのお年寄り宅の清掃活動や、地域の清掃活動も同時に行った。昨年の花の苗を庭先に植えたり感謝の言葉をかけてくださったり、配付する苗を心待ちにされるお年寄りもおられ、生徒たちの活動の励みになっている。生徒たちの感想にも、「交流ができたことや、喜ばれたことがうれしかった。」との感想を書く生徒も増えている。



学期に1回、生徒会執行部が呼びかけ、通学路や地域のゴミ拾いをしながら登校してくる「OSG97（おそうじ97人）」も今年度で3年目になる。

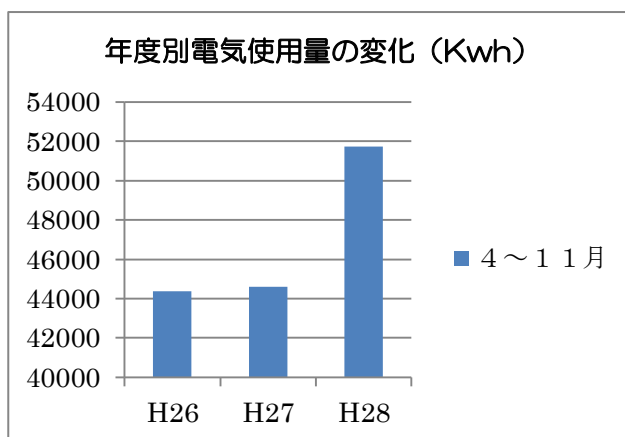
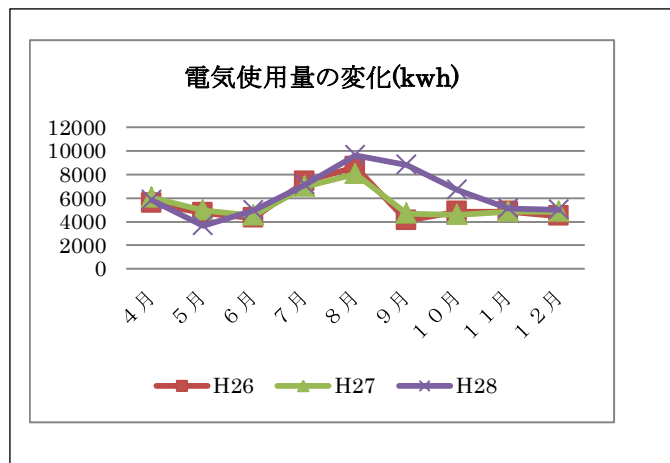


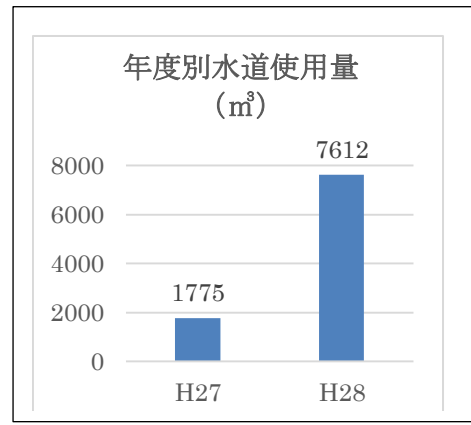
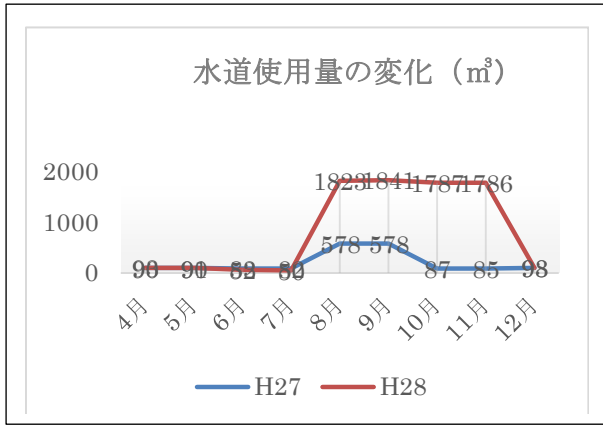
これ以外にも、PTA 活動として年に2回、再生資源回収を実施、生徒たちは各地区の資源回収や学校での分別活動に積極的に参加している。

「笑顔あふれる河内
オレンジロード」

4 記録

今年度の電気使用量、水使用量は、それぞれグラフのとおりである。電気使用量については4月～7月までをみると過去2年とほぼ横ばい状態となっているが、8月からの使用量については地震の影響で8月から2学期が始まったこと、12月までの5か月間、7時間授業を行ったことなどを要因に電気使用量が増えている。水道使用量もプールの水質の悪化のため水の入れ替えがあったことや2学期まで水泳の授業があったことで結果的には使用量の増加となった。しかし、4月の地震なども受け、電気や水の大切さを身をもって体験したことで節電・節水の意識は高まり、学校や家庭でも、できることから取り組んでいくことが将来の豊かな暮らしにつながっていくのではないかと考える生徒たちが増えていることを強く感じる。今後の実践に期待したい。





5 課題と成果

各委員会では、毎月の活動を振り返り、次の月のそれぞれの仕事を進めてきた。今年度 11 月以降は生徒会を中心に、学校レベルでの課題を考えみんなでその解決に向けて考え、それぞれの委員会がお互いに協力して取り組むという、新たな試みが取り入れられた。また委員会以外でも、環境に関する取組を行う機会を得ている。今年度の反省を活かして、来年度はさらに今の取り組みを深めていきたい。

委員会	環境に関して今年取り組んだこと	良かった点・反省点
整美	<ul style="list-style-type: none"> 学校版環境 I SO の呼びかけ 花壇の水かけ、草取り 落ち葉堆肥づくり、苗植え 節水節電呼びかけ 清掃ボランティアの募集 	<ul style="list-style-type: none"> 節水月間や節水を意識した掃除に積極的に取り組んだ。特に熊本市の節水 218 運動を掃除の前に放送で行った。 数値的に変化はあまり出なかった。 花の苗植えなど、ボランティアでの活動の種類、参加人数が増えた。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 節電の呼びかけ、点検 	<ul style="list-style-type: none"> 節電へ意識を高めるため、常時活動として消灯確認、節電点検、ポスター掲示などを行った。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 倉庫他周辺の清掃 	<ul style="list-style-type: none"> 体育施設、倉庫周辺の清掃、除草作業に取り組んだ。
保健	<ul style="list-style-type: none"> エコキャップ回収 トイレ掃除への EM 発酵液の使用 	<ul style="list-style-type: none"> エコキャップ回収は、生徒から保護者へ、保護者から職場へ、また生徒自ら地域の方々へ呼びかけたりして、さらに輪が広がっていった。 エコキャップを集めることがどうなのか委員会で振り返りを行うことになった。次年度へつなげていく。
文化	<ul style="list-style-type: none"> 節水・節電に関する放送 	<ul style="list-style-type: none"> 節水に関し放送委員の毎日の放送時に呼びかけができた。水に関する CD 放送も行った。
図書	<ul style="list-style-type: none"> 環境の本コーナー、緑化に関する本のコーナーの設置 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館に緑化・環境のコーナーを設置し、生徒に紹介することができた。
執行部	<ul style="list-style-type: none"> 地域の一人暮らしのお年寄りへ花苗配付 清掃活動 OSG97 再生資源回収 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの地域ごとに花の苗配布に加え清掃活動も行うことができた。 OSG97 では登校時に清掃ゴミ拾いをした後に分別を行った。3 年目になり活動が定着してきた。 いろいろな活動を執行部を中心に全委員会、全生徒で考えていきたい。